

平成25年度第3回花巻市立図書館協議会 会議録

1 期 日 平成26年2月26日(水) 午前10時～正午

2 場 所 花巻図書館 1階会議室

3 出席者

(1) 協議会委員

阿部 祐基委員、和田 政男委員、市川 浜委員、門馬 優子委員、
佐々木 さつき委員、日下 明久美委員、坂本 知彌委員、晴山 美紀子委員、
折居 健委員、白藤 祐三委員、阿部 善郎委員(計11名)

(2) 事務局

花巻図書館長 藤原 宏康、大迫図書館長 鎌田 仁、石鳥谷図書館長 小原
茂隆、東和図書館長(花巻図書館長兼務)、花巻図書館副館長 佐藤 純一、
花巻図書館業務係長 吉田 郁子、石鳥谷図書館上席主任 菊池 桂、東和図
書館副主任主査 菅野 和

4 欠席委員 藤原 くに子委員(1名)

5 傍聴者 1名

6 会議の概要

・会議成立の報告(佐藤花巻図書館副館長)

12名中11名出席。出席委員が構成員の過半数を超えているので、図書館協
議会規則第7条により成立することを報告

(1) 開 会(佐藤花巻図書館副館長)

ただ今から、平成25年度第3回花巻市立図書館協議会を開会いたします。

(2) 会長あいさつ(坂本 知彌会長)

皆様おはようございます。年度末のお忙しいところお集まりいただき、ありがとうございます。
市長が変わり、新聞報道では図書館の建設について、広く市民の意見をお聞きしながら考えてい
こうということになっているようですので、後悔のないようなものを作らなければならないと考
えますので、皆様のより一層のご協力をいただきながら、より良いものを作れるように努力して
まいりたいと思います。どうぞよろしく申し上げます。

(3) 議 事(図書館協議会規則第6条により坂本会長が議長となる。)

1 報 告 平成25年度花巻市立図書館の事業実施状況について

○ 事業実施状況を各館の担当から資料に基づき説明

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ただ今、4館から説明をいただきましたが、ご質問等ありませんか。

(白藤 祐三委員)

石鳥谷、東和図書館のギャラリーは、いつも有効に利用されており、市民グループが活動する場所として貴重な場所であると思います。東和図書館のギャラリー企画展の来館者数が明記されていませんが、延べでどのくらいの人が来館されたのですか。

(菅野副主任主査)

持ち込み企画がほとんどで、芳名帳に記入してもらっている団体と、自由に見ていただいている団体とありますので、確定した数字は入館者で捉えています。たとえば、資料6ページの文学賞受賞図書展の入館者は10日間で2,000名ほどでしたので、次回からはこれらの数字を積み上げて企画展全体の延べ人数を記載することとします。

(白藤 祐三委員)

統計的に見ても参加者が少ないものかもしれませんが、石鳥谷の南部杜氏発祥に関するものや東和のホームスパンのような地域に根ざした産業について紹介し、市民の方に理解してもらうような企画についても継続していただければと思います。

(坂本 知彌会長)

ブックスタートの周知はどうなっているのでしょうか。案内は付いているのですか。

(吉田業務係長)

保健センターから連絡する時に一緒に案内をしています。健診に来なかった方には、未健診者のためのフォローアップ事業を実施し、事業に参加いただくよう未健診者に案内を出しています。また、保健センターや図書館では、いつでもブックスタートの趣旨を説明できるような体制をとっております。

(坂本 知彌会長)

大迫図書館の「おはなしでてこい」の参加者が少なく、寂しい気がします。花巻学童クラブは、よく花巻図書館を利用させていただいており、お話し会にも参加しております。学童クラブは日曜日は休みですが、大迫地域の学童クラブも土曜日はやっていると思いますので、利用できるように開催日にすれば、もっと利用率が上がるのではと考えます。

(鎌田大迫図書館長)

貴重なご意見、ありがとうございます。

(坂本 知彌会長)

ブックスタート、ブックスタートプラスについてですが、以前はブックスタートの育児学級で2冊本をあげていたものを1冊ずつにして、ブックスタートプラスとして1歳6ヶ月児検診に差し上げることにしましたが、育児検診の時のほうが参加率は高いようですね。

(吉田業務係長)

ブックスタートプラスとして回数を増やしたところ、本を渡す機会も増え、参加率も伸びております。

(坂本 知彌会長)

その他、ご意見、ご質問等はありませんか。よろしいですか。よければ、次に移ります。議題2の平成26年度花巻市立図書館の事業計画(案)及び予算(案)について、事務局より説明をお願いします。

1 諮問 平成26年度花巻市立図書館の事業計画(案)及び予算(案)について

- 平成26年度花巻市立図書館の運営方針及び平成26年度の各館共通事業について、資料に基づき、藤原花巻図書館長より説明
各館の平成26年度事業については、各館担当から説明

【質 疑】

(坂本 知彌会長)

ひととおり平成26年度の事業計画を説明いただきましたが、ご意見、ご質問等がありましたら、お受けいたします。

(阿部 善郎委員)

全体的に事業をお聞きしましたが、今般、防災に関することが目立つようになってきました。災害も多くなってきており、他の地域の出来事ではすまされない状況になってきております。このようなことから、図書館事業でも自然災害に関する映画会や写真展などの企画により市民に知っていただくことは非常に大事なことでありと考へますので、このような企画をもっと増やしていただきたいと思ひます。また、あわせて災害に関する図書の充実も図っていただきたいと思ひます。

(坂本 知彌会長)

災害に備えるためにも、災害に関する図書の充実、それから展示等による啓発等図書館として出来ることを行つていただきたいというご意見でした。いろいろとお忙しいところとは思ひますが、よろしくお願ひします。

(藤原花巻図書館長)

ありがとうございます。ご承知のとおり3. 11の東日本大震災以降、いろいろと関連する本が発刊されております。当市図書館でも、極力そのような本を購入して、まもなく3年目の3. 11が近づいておりますので、震災に関する特別企画展を開催したり、随時いろいろな場面で実施していかなければと考へておりますので、いろいろな面で皆様からも情報を提供していただければと思ひます。よろしくお願ひします。

(阿部 善郎委員)

この辺では災害といへば、地震や水害等になるわけですが、火山による災害等もありますので、できるだけいろいろな災害に関する資料を収集いただきたいと思ひます。

(坂本 知彌会長)

貴重なご意見をいただきました。いろいろな災害に備えて、災害に強いまちづくりに気持ちを向けていければいいと思ひます。ありがとうございます。

他にご意見等ありませんでしょうか。

(折居 健委員)

資料の1ページの「Ⅱ 重点目標」に「新花巻図書館の開館に向けて図書館サービス計画を策定する」とありますが、せつかく新図書館ができるのであれば、開館を祝つて、何らかの行事、イベントをやるべきではないかと思ひます。1つは、図書館になるのか、教育委員会になるのかわかりませんが、旧1市3町の合併によるそれぞれの歴史を小中学校生にわかりやすく編纂し、資料提供する必要があるのではないかと考へます。もう1つは、開館後、1ヶ月くらいは、市立図書館4館での合同行事、たとえば読み聞かせなどをして、事業のPRをしてはい

かがと思います。

(藤原花巻図書館長)

大変貴重なご意見ありがとうございます。開館時期につきましては、まだまだ不透明なところがありますが、新図書館を作ることはゆるぎないことですので、開館に向けまして、サービス計画、たとえば開館時間や貸出し冊数などの基本的なことから考えていかなければならないと思っております。開館時には、今、いただきましたご意見等を見据えまして検討してまいりますので、今後ともいろいろなご意見をいただければと思います。

(坂本 知彌会長)

浮き浮きするようなご意見をいただきました。ありがとうございます。

他にありませんか。

(白藤 祐三委員)

今の関連ですが、今年に限らずここ数年、新図書館のサービス計画については、大きな課題になると思います。昨日の新聞にも掲載されましたが、複合施設整備について市民との対話を経てから、そして去年からすでに基本計画によりプロポーザルが進んでおりますので、これを一旦ストップさせて、再度市民の意見を聞くということになると思いますが、市民の声や図書館サイドの構想などを今後の整備事業の中に反映させていただけるよう希望いたします。すごく今大事な時期でもありますので、着手してからもサービス計画については、集中して取り組んでいただきたいと思っております。

もう1つ、図書館利用者としてですが、配架スペースがかなり苦しくなってきたせいか、配列が大分変わって戸惑っています。また、ビデオのコーナーがありますが、今はほとんどDVDになってきておりますので、配列等について現行施設の中でもう一度見直ししていただきたいですし、できれば視聴覚資料、特にCDについても充実いただければと思います。

映画会などの参加者も少ないようですので、従来の方法を見直しして、もっと参集しやすい内容で企画していただければいいのかなと思います。映画を見る機会は、図書館に行かなくてもレンタル等で見ることができるわけですので、内容について再検討あるいは見直しの時期に来ているのではないかと思います。

(藤原花巻図書館長)

今のご意見ごもっともだと思います。配置につきましては、今のご意見を踏まえまして検討してまいりたいと思っております。それから、映画会につきましては、最近、各地域の振興センターでもいろいろな映画会等も開催されておりますので、ただ今いただきましたご意見等を踏まえまして、図書館として再検討してまいりたいと思っております。

(坂本 知彌会長)

他にありませんでしょうか。

(和田 政男委員)

今年度の事業実施状況、来年度の運営方針等をお聞きし、いろいろな事業を実施されていると感じました。ただ、実施状況、事業計画を見てちょっと抜けているなどと思われるところが、中学生、高校生、勤労青少年、ここがいろいろな部分を見て薄いところかなと感じました。確かに、中学生、高校生は難しいですね。余暇は、すべて部活動に当てられるため、学校図書館に足を向けることが非常に難しい状況になっています。そのような中で、中学生、高校生、勤労

青少年にフォーカスしたような事業が何か工夫できないかとの印象をもって話を聞いていました。難しいと思います。彼らが図書館に足が向くようになれば、自然に読書習慣が身についていくのではないかなと思います。もう1つ、今、学校図書館ボランティア等が一生懸命整備してくれていますが、学校の時間の中で生徒が図書館を利用する時間が昼休みの15分、20分という少ない時間しかなく、施設は立派ですが、時間が作れない状況です。そこで、たとえば各図書館で実施している事業の中で、学校施設を利用してできるものはないのか、場所をそこに移しただけで地域の人が集まるようなことができないものかと考えたところです。学校側から図書館協議会委員に2名の委員が入っておりますので、良い点、改善点を踏まえながら、市立図書館と学校図書館の連携が強化されていけばいいのではと思います。

(藤原花巻図書館長)

ありがとうございます。学校との連携は、非常に大きな課題だと考えております。新図書館建設に限らず、学校図書館との連携は密接にいろいろなことを考えていかなければと思っています。その中で、今年度のこども読書くらぶ事業は、ヤングアダルトをターゲットに企画したつもりですが、なかなか中・高校生が思うように参加いただけなかったのが現状です。来年度は、このようなことを踏まえ、学校と協議をしながらこども読書くらぶを進めていかなければと考えておりますので、いろいろとご相談させていただくことがあるかと思っておりますので、よろしくお願いします。

(門馬 優子委員)

こども読書くらぶの開講式と閉講式に参加させていただきましたが、特に閉講式に参加された子ども達の感想が、しっかりと内容を受け止めていて、すごく有意義なくらぶ活動であったなということが感じ取れました。中・高校生の参加は少なかったですが、小さな子ども達のサポートの役目も果たしてましたし、そういう意味で図書委員だけではなく、中高生の中には次年度のこども読書くらぶの活動が、図書館職員の仕事を見習うということに特化していますので、掘り起せばまだまだ中高生の参加が見込めるのではないかと思います。そういう中から将来の仕事に結び付けて考えていく子どもたちも増えていくのではないかと期待も抱いたところです。とてもいい事業なので、もっと膨らましていただければと思います。それから、もう1つ要望ですが、東和地区に萬鉄五郎美術館がありますが、そこに専門的な蔵書があるはずですが、美術館の中であって余り一般の目に触れることのない図書を市民が見る機会がないので、ぜひ各図書館で地区内にある施設が持っている図書を見る機会を作っていただければと考えます。

(藤原花巻図書館長)

ありがとうございます。読書くらぶについては、今お話のあったとおりであると思います。また、後段でお話のありました地域に根ざした資料につきましては、新しい図書館基本計画の中にも各館の特徴を生かした郷土資料を収集していくことを掲げていますので、集めることはもちろんお見せするというのも併せて今後とも郷土資料の充実を図っていくことは大きなテーマであると捕らえていますので、今後ともご指導をよろしくお願いします。

(坂本 知彌会長)

他にありませんでしょうか。

(市川 浜委員)

ボランティアの育成講座に関連してお伺いします。読書ボランティアの方々の実施状況を見ますと、かなりの方々にご協力をいただいているようですが、現在、ボランティア活動をされている方々はどの位いらっしゃるのでしょうか。

(坂本 知彌会長)

各館にボランティアのグループがあるかと思いますが、人数は流動的なのでおおよそのところを各館から教えていただきたいと思います。

(藤原花巻図書館長)

花巻には4、5団体ほどありますが、人数につきましては、手元に資料がないので申し訳ありません。

(鎌田大迫図書館長)

大迫は、たんぼぼの会という団体が1つありまして、人数は大体2、30人位だと思います。

(小原石鳥谷図書館長)

石鳥谷は、学校単位で抱えているグループと学童クラブを支援しているグループがあり、大体5団体があります。

(菅野副主任主査)

東和では、5団体位ありますが、そのうち1つは利用者組織でボランティアとはちょっと違うので、名簿の人数を足すと100人は超えますが、実働人数からいくと半分くらいと思われます。

(市川 浜委員)

ありがとうございます。こういうボランティアの方々の支えによって読書活動が進んでいることは間違いのないことだと思いますが、そのほかにも自主的に取り組んで、自前で保育園にいった読み聞かせを行っているグループなどもたくさんあるわけですので、ボランティア育成講座のような研修を通じながらこのような方々を少しでも多く増やしていくことが、これからの読書活動を広げていくことにつながっていくことになると思います。学校では、朝読書などにより比較的読書活動が行われていますが、家に帰るとテレビやゲームが主流になり、家庭内で本を読む機会が少なくなっているようですが、学校でそのことを推し進めることは非常に難しいと思われるので、読書ボランティアの方々が少しでも増えていくことによって、それぞれの家庭内での読書活動も広まっていくのではないかと考えております。

(坂本 知彌会長)

各学校に行って、自主的に図書整備をしたりしているボランティアの方々もおりますし、小学校で読み聞かせをしている方々もおります。

(市川 浜委員)

ボランティア育成講座のような事業は、これからも充実していただきたいと思いますし、それぞれの館ごとに実施していただければさらに良いのではないかと感じました。

(折居 健委員)

確認ですが、石鳥谷図書館で平成25年度に実施した大人のシネマ鑑賞会は平成26年度はないようですが、実施しないのでしょうか。

(小原石鳥谷図書館長)

平成25年度はまず取り組んでみようということで実施しましたが、平成26年度には上げ

ませんでした。というのは、継続して取り組んでいくかどうかを平成26年度中に検討することとしておりまして、利用者の方々から希望があれば取り組んでいきたいと考えております。
(折居 健委員)

大人を対象としたこのような事業を行うことによって、大人の利用者の促進の啓蒙になるのではないかと思いますので、継続して取り組んでいけばよろしいかと考えます。

(坂本 知彌会長)

他にありませんでしょうか。

(阿部 祐基委員)

小学校教育を担当するものとして、図書館をはじめ読み聞かせの方々等多くのボランティアの方に何かとお世話をいただき感謝いたしております。前にもお話しておりますが、土曜日が授業日となる予定ですので、事業を計画する際はこのことを前提に考えていただければと思います。現在、国がどのように進めたいかはっきりしていないため、現場ではまだわからない状況となっていますが、国の方針では3年後くらいには実施するということでその中身はまだ未定の状態です。ということで、今後、毎週いろいろな事業がありますと子どもたちも大変と思いますが、図書館と学校がタイアップして行事を組んでいくことが必要になっていくのではと考えております。現在も、スポーツ少年団や、地域での活動もありますので、子ども達の引っ張り合いが生じてくることを心配しております。ということで、土曜日事業への参加のさせ方を図書館だけではなく、学校も一緒になってお互いに情報を取りながら進めていければと考えております。

(阿部 善郎委員)

子ども達も何かと忙しく、家庭内で読書をする時間もなかなか取れないようですが、学校では読書活動は図書館活動の中心である図書委員会だと思っておりますので、読書推進を進める上で図書委員会活動が非常に大事になっているのではないかと考えています。

(坂本 知彌会長)

それで、今度のこども読書クラブの活動は、学校図書館魅力向上委員会ということで、学校の図書委員の方を対象に活動をしてもらうということですので、学校と情報を取り入れながらがんばって取り組んでいただきたいと思いますと思っております。

(和田 政男委員)

今お話がありましたとおり、お互いに協力することによって、よりスムーズに動くような、少ない労力で効率よくできるような連携になっていければと思います。

(坂本 知彌会長)

大いに先生方にも力になっていただき、取り組んでいければと思いますので、ご協力をお願いします。

(日下 明久美委員)

平成25年度の読み聞かせ実施報告で、東和図書館のボランティアの参加人数が記載されていませんがどうしてでしょうか。

(菅野副主任主査)

読み聞かせには、各会から1人から2人ほどボランティアの方にも入ってもらっていますので、単純に記載漏れです。次回からは記入漏れのないようにいたします。

(日下 明久美委員)

図書館の運営方針ですが、資料もわかりやすく、すごく積極的な運営方針ではないかと私は見ました。どんどんと工夫をして活発な活動をしていただきたいと思います。

(坂本 知彌会長)

積極的な活動をよろしくお願ひします。それでは、ほかにご意見等はありませんでしょうか。よろしいですか。

(藤原花巻図書館長)

なければ、資料の予算につきまして、副館長から説明いたします。

- 平成26年度花巻市立図書館の当初予算案について、資料に基づき、佐藤花巻図書館副館長より説明

(坂本 知彌会長)

ただ今、予算案についてご説明いただきましたが、何か質問、ご意見はありませんでしょうか。

(坂本 知彌会長)

質疑はなしということによろしいですか。それでは次第3のその他に移ります。

(藤原花巻図書館長)

特になければ、私のほうからその他ということでお話を申し上げます。皆さんが非常に関心の高い図書館建設についてですが、今現在の状況についての報告をいたします。年明けの1月14日に基本設計をする業者のプロポーザル方式による選定として、3社の共同企業体の参加によるプレゼンテーションが行われ、選定委員会により業者を選定、市長への報告により業者が決定しました。

そして基本設計を2月1日から6月30日までとして契約を締結しております。現在は、基本計画を基に配置やレイアウトについて事務方と設計業者とで検討、協議している最中です。まだ、具体的にお示しする段階になっていませんし、新市長はいろいろと市民の方々の意見もお聞きするという事とも言われておりますので、そのためのたたき台を作っているところでございます。

(坂本 知彌会長)

ただ今の、説明に何かご意見等ありませんでしょうか。特になければ新図書館建設については、図書館職員のノウハウをしっかりと生かしていただくことをよろしくお願ひいたします。

(藤原花巻図書館長)

わかりました。ありがとうございます。

(坂本 知彌会長)

他にはございませんでしょうか。それではその他のほうも出尽くしたようですので、事務局のほうにお返しします。

(佐藤花巻図書館副館長)

大変貴重なご意見等をいただき、ありがとうございました。

その他につきましては事務局からは特にございませんが、皆様のほうから何かございましたらお願ひしますが、ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、長時間大変ご苦勞様でした。皆様方からいただきましたご意見等を参考に平成2

6年度事業に取り組んでまいりたいと思います。

以上を持ちまして平成25年度第3回花巻市立図書館協議会を閉会いたします。ありがとうございました。